

知財・事業の概要および知財ビジネス報告書作成の目的	製造業	ノウハウ
当社は、FRPとアルコール系バインダーを用いた低コスト・省設備型の木材含浸技術を開発し、耐久性・耐候性に優れた木材製品の製造を目指している。本技術は従来の大規模装置を不要とし、10年耐久の実証および量産化に向けた共同開発を進めている。 本報告書は、顧客への本業支援の方向性検討と、量産化技術開発の資金調達に向けた社内検討資料として活用することを目的とする。		



当社の独自技術を用い、製造したプランター

知財ビジネス報告書への記載概要

過去～現在 (As-Is)	知的財産（強み・壁）をいかにして生み出し、安定した事業に貢献しているかについてストーリー化する	木材を屋外で利用する場合、雨風や紫外線、害虫等による腐食が課題であり、解決に繋がる木製塗料は見つからず、自ら木を腐らせない技術であるFRP技術を活用した木と樹脂の組み合わせた「腐らない木；R.P.Wood」の加工技術を開発し、当該技術を活用し、地方自治体などを中心にプランターなどの製品の提供を行っている。
	将来像の実現に向けた課題およびその解決の方向性（事業構想）を明確化する	「腐らない木（R.P.Wood）」の普及と地産地消モデルによる森林循環・地域経済活性化の実現に向け、耐久性向上、評価手法確立、大型化・量産化技術開発、協力関係強化、資金調達などの課題がある。 課題解決の方向性としては樹脂含侵の深さと耐久性の相関の明確化を整理した。
現在～将来 (To-Be)	将来像の実現に向けた実行計画をストーリー化する	将来像の実現に向け、樹脂・バインダー・添加剤・トップコートの基本配合と材料相性の整理、含浸深さと耐久年数の相関に関する理論を収集・整備する点を検討した。 また、大型化・量産化に向けた工程とスケジュールを具体化し、補助金制度も活用しながら製品化計画を策定・説明する点についても整理した。

多摩信用金庫からの評価結果

知財ビジネス報告書 を通じて認識した強み	改めて認識した点	知財ビジネス報告書の作成を通じて、当社の技術は他社では模倣できない高度なものであると認識した。
	新たに認識した点	当社の技術は、今後の売上高増加の点で強みであると新たに認識した。
知財ビジネス報告書 を通じて認識した課題	改めて認識した点	今後の営業戦略が課題と改めて認識した。
	新たに認識した点	これまで認識していた課題と同様に、今後の営業戦略が課題であると認識した。
将来のビジネス展開に 向け金融機関として サポートできる点	■ 融資商品やビジネスマッチングの紹介	

中村工業社からのコメント

知財ビジネス報告書の作成を通じて得られた 新たな気づきがあったか	社会実装に向けての具体的な方向性の修正や確認を気付かせていただいた。
知財ビジネス報告書をどう活用できそうか	開発パートナーや協力者との共通認識の再確認の基礎として活用したい。